

平成 29 年 8 月 9 日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部普及課

登 録 速 報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

記

農 薬 名：ガンガン豆つぶ250（登録番号：第 23535 号）

適用拡大登録月日：平成29年8月9日

適用拡大登録内容：

- 作物名「移植水稻」に使用方法「水口施用」を追加する。
- 作物名「移植水稻」に適用雑草名「アミドロ・藻類による表層はく離」を追加する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クダマ コキヤガラ シズイ アミドロ・藻類による 表層はく離	移植後 3 日～ /ビエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで	250g/10a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用 又は 無人ヘリコプター による散布
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ /ビエ 2.5 葉期 但し、 収穫 60 日前まで			湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布

ピリミルスファンを含む農薬の総使用回数	フェノキサスルホンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内

注意事項の変更：

【追加事項】

- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 水口に対して風速5m/sを超える向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になる恐れがあるため水口施用をさけること。

【変更前】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態（水深5～6cm）にして水の出入りを止めること。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため周縁散布をさけ、本田内で水田全面に散布すること。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- 湛水散布または湛水周縁散布にあたっては、やや深めの湛水状態（水深5～6cm）にして水の出入りを止めること。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため周縁散布および水口施用をさけ、本田内で水田全面に散布すること。

以上